

科目名 (科目番号)	微生物検査学演習 (時間割参照)	教員名 鴻巣 麻子	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	演習	オフィスアワー	木3・4 B202研究室	
授業概要		微生物学、微生物検査学I、微生物検査学IIで学んだ細菌・真菌の分類・病原性と同定検査・薬剤感受性検査、ウイルスの分類・病原性と検査法などの知識の復習として、演習問題を解きながら理解し、説明できるようにする。					
目的・目標		目的:臨床微生物学に関して、総合的にさまざまな知識を復習する。 目標:1年から3年にかけて学んだ微生物学、微生物検査学の内容を説明できるようにする。					
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。					
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	微生物の分類、形態と構造、染色法	到達目標:微生物の分類、細菌の構造、染色法などについて理解する。 学習内容:細胞壁、鞭毛、荚膜、鑑別染色などについて学習する。				
	2	細菌の代謝と発育、細菌培養、発育条件と培地、遺伝と変異	到達目標:細菌の代謝・発育、培養、遺伝・変異について理解する。 学習内容:呼吸、発酵、プラスミド、遺伝形質の伝達などについて学習する。				
	3	化学療法とワクチン、耐性菌	到達目標:化学療法、ワクチン、耐性菌について理解する。 学習内容:薬剤感受性試験、抗菌薬、ワクチンなどについて学習する。				
	4	正常細菌叢、病原性と抵抗力、感染症の種類	到達目標:正常細菌叢、病原性と抵抗力、各種感染症について理解する。 学習内容:常在菌、院内感染、病原性因子などについて学習する。				
	5	検体別取り扱い法、培養法、検査法	到達目標:検体採取法、検体別培養法・検査法について理解する。 学習内容:便、尿、血液、髄液、痰などの検体について学習する。				
	6	グラム陽性球菌菌、グラム陰性球菌	到達目標:グラム陽性球菌、陰性球菌の特性について理解する。 学習内容:スタフィロкокカス属、ナイセリア属などについて学習する。				
	7	グラム陰性通気性桿菌(腸内細菌)	到達目標:グラム陰性通性嫌気性菌(腸内細菌)の特性について理解する。 学習内容:エシェリキア属、シゲラ属、サルモネラ属などについて学習する。				
	8	グラム陰性通性嫌気性菌桿菌(腸内細菌以外)	到達目標:腸内細菌以外グラム陰性通性嫌気性菌の特性について理解する。 学習内容:ビブリオ属、ヘモフィルス属などについて学習する。				
	9	グラム陰性好気性桿菌、微好気性らせん菌	到達目標:グラム陰性好気性桿菌、らせん菌の特性について理解する。 学習内容:シュードモナス属、カンピロバクター属などについて学習する。				
	10	グラム陽性桿菌(有芽胞菌、無芽胞菌)	到達目標:グラム陽性桿菌(有芽胞菌、無芽胞菌)の特性について理解する。 学習内容:バシラス属、リステリア属などについて学習する。				
	11	グラム陽性桿菌(抗酸菌)	到達目標:グラム陽性桿菌(抗酸菌)の特性について理解する。 学習内容:マイコバクテリウム属、ノカルジア属などについて学習する。				
	12	偏性嫌気性菌(有芽胞菌、無芽胞菌)	到達目標:偏性嫌気性菌(有芽胞、無芽胞菌)の特性について理解する。 学習内容:バクテロイデス属、クロストリジウム属などについて学習する。				
	13	真菌	到達目標:ヒトに病気を起こす真菌の特性について理解する。 学習内容:酵母、糸状菌などについて学習する。				
	14	DNAウイルス	到達目標:DNAウイルスの特性について理解する。 学習内容:ヘルペスウイルス科、アデノウイルス科などについて学習する。				
	15	RNAウイルス	到達目標:RNAウイルスの特性について理解する。 学習内容:オルトミクソウイルス科、レトロウイルス科などについて学習する。				
成績評価の方法・基準		期末試験 100% (対面・オンライン共通)					
教科書		最新臨床検査学講座 臨床微生物学		松本哲哉 編集		医歯薬出版	
参考図書							
教員からのメッセージ		演習問題を前もって配布するので、事前に必ず問題を解いて勉強してください。授業では答え合わせと解説を行います。授業の進行状況により項目が変更になることがありますが、その場合は事前にお知らせします。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。					